



いのちのまつり

井の頭

吉祥寺

6号
2012年9・10月号

2012年(平成24年)9月1日

●編集・発行
いのちさん編集委員会
編集長 川井信良
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
株式会社文伸 気付
電話 0422-60-2211
FAX 0422-60-2200
メール inokichi@bun-shin.co.jp

●協力
東京都西部公園緑地事務所
東京都井の頭自然文化園
井の頭恩賜公園100年実行委員会
NPO法人みかた都市観光協会
武蔵野市観光推進機構

●制作支援
株式会社文伸 / ふんしん出版

井の頭恩賜公園
開園100周年まで
あと4年8ヵ月

せのうさこ 1975年 盛岡市で生まれる。小6で三鷹へ転校。アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住。

INFORMATION 2012年9月~10月

井の頭自然文化園

●動物慰霊祭

過去1年間に死亡した動物を紹介し、献花をしていただきます。
9月17日(月・祝)

●都民の日 入園料無料

10月1日(月)

●特設展示

「Wonder Hut Returns どうぶつのふしぎがいっぱい」

1月2日(月)~11月25日(日) 場所:動物園 資料館

●ショートムービー「モルモットとなかよくなるのうた」上映中!

【監督:富永まい 音楽:サキタハチメ】

モルモットのくらしやからだのつくり、ふれあいコーナーの利用の仕方を音楽にあわせて楽しく学べます。

場所:動物園 資料館・絵本コーナー

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html

井の頭恩賜公園

●井の頭100祭 10月27日(土)、28日(日) 両日とも11:00~16:30(雨天中止)

「井の頭100祭」は、自然の宝箱である井の頭公園に日頃の「感謝」の気持ちを捧げ、人間で言うところの100歳のお誕生日をみんなでお祝いしようというものです。「井の頭100祭」も今年で3回目。今年のテーマは「芽ばえ」です。当日は、井の頭公園に集まったみんなが「笑顔」「自分らしく」「ありがとう」の気持ちを伝え合っ楽しくハッピーに盛り上げられるといいなと思っています。どうぞお気軽にご来場ください。お待ちしております。

(「井の頭100祭」実行委員会・アートマーケット有志)

●野外劇フェスタ2012【劇団唐組】 10月6日(土)、7日(日)、13日(土) 14日(日)、20日(土)、21日(日)

●ネイチャー☆プログラム* 武蔵野三鷹自然祭 9月30日

●東京ウォーク(西園ブランド) 9月14日(金)、15日(土)

●三鷹国際交流フェスタ(西園ブランド) 9月22日(土)、23日(日)

●アニメワンダーランド(野外ステージ) 10月6日(土)、7日(日)

●武蔵野市地域ネコの会(野外ステージ) 10月14日(日)

●TERATOTERAイベント 11月3日(土)、4日(日)

●東京土建イベント(西園ブランド) 11月10日(土)、11日(日)

●東京ガス環境イベント(野外ステージ) 11月11日(日)

*ネイチャー☆プログラムとは…次世代を担う子供たちや公園を訪れる人たちに、わかりやすく楽しく「自然の仕組み」を学び遊んでもらうプログラムです。

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.i-np.jp/index.html

井の頭かんさつ会

●第88回 「秋のバードウォッチング ~渡りの夏鳥を探そう~」

9月23日(日) 8:30~10:30

●第89回 内容未定

10月20日(土) 10:00~12:00

事前申し込みが必要です。詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます。

アートマーケットと アパレルアーティストの人々



一種類ずつの柄にストーリーがあり、解説を聞くのも楽しみのうち

ともぞう本舗さん(手ぬぐい作家)

井の頭池に沿った北側の通りで、ひらひらと色鮮やかな手ぬぐいをはためかせながら、ともぞう本舗さんはほぼ毎週末に出店しています。手捺染(てなっせん)という技法で一枚一枚手染めした手ぬぐいです。古典的な和柄から現代的なポップな柄まで、デザインも自身が手がけています。たくさん

さんのスワンポートを描いた一品は、「井の頭公園でしか出ていません。井の頭池のスワンポートと同じように、一つだけりりしい眉毛のスワンなんですよ」一見よくある柄のようで、ひとひねりしてあるのがともぞう本舗さん流。三角形を組み合わせた古典柄の「鱗紋(うろこもん)」が、三角形の愛らしい幽霊でできていたり、桃柄に桃太郎が落んでいたり。

「柄の説明を聞いて、クスって笑ってみてもらえるのがうれしい」。毎月新しい柄が登場し、同じ柄でも季節ごとに色違いが並びます。最近では10~20代のお客さんも増えていて、手ぬぐい文化の浸透を感じているそうです。

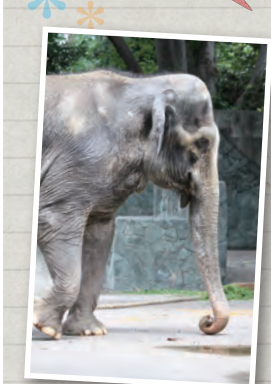


桃柄と、カエルが手をつないだ幾何学模様

小田原 滯(おだわら みお) 編集者・ライター。フィールドは多摩。三鷹市在住。

アートマーケットは、主に土日祝日に開催しています。

6 今月の はな子



現在の心配事は便秘

今年の夏は、寝室へのクーラー導入や運動場でのスプリンクラー散水時間の増加など、例年以上に暑さ対策に気を遣いました。これらの対策が功を奏したのか、毎年落ちる食欲があまり落ちず、元気に夏を乗り越えられそうです。現在の心配事は、便秘です。高齢のため、内臓の動きが鈍くなっているのか、便が硬くなることが増えました。そこで、便の水分量を増やすためにキャベツを増量したり、便通が良くなると言われていたドクダミを摘んで与えたりしています(人間にとっては、臭いドクダミですが、ゾウにとっては大のご馳走です)。便の見た目が硬そうな時には、細い木の枝で刺して硬さを確認します。飼育係がこの動作をしても「ウンチをつついて遊んでる!」と思わないでくださいね!

井の頭自然文化園 飼育展示係 高橋孝太郎

井の頭公園の生き物たち トチノキ

井の頭かんさつ会 田中 利秋(たなか としあき) 井の頭かんさつ会代表。毎月自然観察会を開催。池の外來魚問題にも取り組む。



トチノキの若木

人をも操るトチの実の魔力

本来は山地に生える樹ですが、井の頭公園にも大木が複数あります。手のひらを広げた形の大きな葉が特徴です。今年はその若木が公園のあちこちに生えているのにお気づきでしょうか。写真はその一例で、切り株は別の種類の木です。ほぼすべてが切り株の脇に芽生えています。

トチノキは9月の初めごろたくさんの実を落とします。殻が割れて出てくるのが「トチの実」と呼ばれる種子です。井の頭公園では落ちるとすぐに拾われてしまうので、いったい誰が拾うのか調べたことがあります。意外なことにはほとんどが大人で、大部分の人が使うあてもないのに拾っているのです。

「いっけん」講座 答え合わせ

問題1
答え...②
解説...ムクノキは、葉の表面をガラス質の物質でおおっていて、葉を食べられないようにしています。その葉は物を磨くの使えるほどです。

問題2

答え...①
解説...毎年9月23日に動物園で死んだ動物慰霊祭を行っています。碑文は自然文化園に縁のある彫刻家北村西望氏が書きました。

井の頭かんさつ会 田中 利秋 http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/

落ちたばかりのトチの実には魅惑の輝きと重量感があります。一見栗に似ているのは、栗やどんぐりと同じ散布戦略を採っているからでしょう。リスやネズミなど、食べ物を蓄える習性がある動物に運んでもらい、食べ残されたものが発芽するのです。ただしトチの実の外観がさらに魅惑的で、どんぐりのシブより強力な苦味成分を持っています。より拾われやすく、より食べられにくいのです。そして、たっぷり詰め込まれた養分を使って40cmほども芽生えを伸ばします。

人もその魔力には抗えませんが、思わず拾ってしまったトチの実が干からびて部屋に転がっている人は少なくないのではないのでしょうか。じつは私もその一人です。そんな人の中から、トチの実を公園じゅうに埋めて回る、リスを上回る動き者が現れたようです。もちろん、勝手に公園じゅうに種を蒔くのは人間には許されないことです。

いま井の頭公園では多くの木が伐り倒されています。木々が高齢化して危険性が増すなどやむを得ない面があるのですが、スカスカになるばかりの林を多くの人が憂えています。トチの実を切り株の脇に埋めて回ったのは、それへの抗議なのかもしれません。木を伐った後どう林を再生するのか、公園の管理プランが公開される必要がありそうです。



トチの実

06 見限られた池

食糧難に耐えていたカップルが6月初旬に姿を消し、井の頭池はカイツブリが住んでいない池になってしまいました。台風、過の6月21日になんと5羽、29日には若い個体と成鳥各1羽、7月6日と17日に成鳥そして8月2日には親離れしたばかりらしい若鳥が姿を見せましたが、いずれも翌朝までに去っていきませんでした。今の池では生きていけないのです。

カイツブリが普通に暮らせる池に戻すべく、我々はすでに5年間も外来魚の駆除を続けています。オオクチバスとブルーギルが減ればカイツブリの餌になる在来小魚やエビが増えるはず。しかし外来魚の繁殖力はすさまじく、在来生物は数を回復できていません。

井の頭かんさつ会 田中 利秋 http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/



カイツブリは、得意の潜水で小魚やエビを捕まえる、小さな水鳥です。池や川にカップルで縄張りを作って暮らし、子育てをします。

連載絵本 コイ太郎の巻 その6
やごと涼しくなりだした9月、神田川は台風の豪雨で大水になりました。やごとを思いついて方世橋までたどり着くと、「そこに行くのはコイ太郎か。」と声がかかります。見上げると「私は柳森神社の狸だよ。井の頭の弁財天から君の事を頼まれていた。頑張りよ」と言われました。弁天さまが守ってくれたのだと知ったコイ太郎は、元気を出して川下りを続けました。 絵と文 せのうさこ



写真 古賀 親宗 (こがもとのり)
1983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトブラファーマー。

池の小島にある井の頭弁天堂。 江戸っ子の信仰心を 今も伝えていきます

井の頭の南西にある赤い御堂は弁天堂です。お正月や4月の例大祭は大賑わいですが、江戸時代からの信仰の場であることを知らずに通りすぎてしまっている人も意外と多いようです。今では「井の頭」といえば公園ですが、江戸時代は「池」と弁財天の名所でした。そのルーツを探ってみましょう。



水辺に鮮やかな朱塗りの井の頭弁天堂

噴水の向こうに朱塗りの御堂。写真を見れば、「ああ、井の頭公園ね」とすぐに分かる、象徴的な風景の一つです。

この弁天堂、もともとは寛永13年（1636）に家光の命で建立されたと伝えられますが、大正13年（1924）に焼失し、昭和2年（1927）に再建。焼失前の白黒写真では色は判別できませんが、安政3年（1856）の歌川広重の『名所江戸百景』の『井の頭の池 弁財天の社』でも朱塗りがおそろしく元から赤だったのでしょう。

井の頭弁財天の持ち寺である大盛寺に伝わる『神御上水源井之頭弁財天略縁起』によると、弁天堂に祀られている弁財天は伝道大師（最澄）の手による像。それを源経基が安置し、後に源頼朝が宮社を建立しましたが、新田義貞の武蔵野の合戦の折りに焼失。その後、寛永13年（1636）に家光が宮社を建てたと記されています。

お寺の記録なので真偽のほどは定かではありませんが、江戸時代に「名所」として知られていたことは確かです。何冊もの書物で紹介されたり、歌川広重が浮世絵に描いたりしていることから分かります。また、両国の回向院、深川の永代寺、湯島天神などで井の頭弁財天像が「出開帳」されたという記録も残っています。神田上水の守り神を拝みに、江戸っ子たちがごぞって集まったと想像されます。ちなみに、いつも大切にしまわれている仏像を公開する「開帳」は、寺社が奉納金や賽銭で運営資金を稼ぐ手段でもありました。

弁天堂の周りには、江戸時代の石灯笼、石階段、石水盤などが今も残されています。奇進した人たちが団体の名が彫られているのを一つ一つ見ていると、江戸っ子たちの井の頭弁財天への厚い信仰心が伝わってきます。

安田知代

安田知代（やまだちよこ）
編集者・ライター。「井の頭公園まるごとガイドブック」「懐かしい吉祥寺 昭和29・40年」編者。

私と井の頭公園 その6

『ミス井之頭』から波乱に富んだ人生が

加藤 幸代（神奈川県茅ヶ崎市在住）

「これサッチャンじゃないかって、昔の級友が『ミス井之頭』の写真を見つけてくれて、教えてくれたんですよ。」今頃どうして私の写真が本（注1）に載っているの？って、びっくりしていますね、それで、早速本を購入して、写真を撮ってくれた土屋さんにお礼を言いたくてお会いしたのですよ！いのきちさん5号参照。

58年前のあの時、父親に叱られましてね、美人コンテスト出場の通知が来て、「陰謀」っていうことをやっているのかって。父はあの近藤勇の流派、天然理心流の八代目加藤伊助修勇なんです。結局、コンテスト応募は友達に投函したということが分かり、叔父さんの説得もあって、父もしぶしぶ承諾したのです。そういう父も、ミス井之頭になった日、三鷹の美登里家（注2）でお世話になった方々を招いて祝賀会を開いてくれました。賞金の半分くらいを使って、「こいつはお金はきれいに使わないとためなんだよ」と言っていました。

ミス井之頭になってから環境が一変しました。東宝や大映などの映画会社からスカウトが来て、結局、あこがれの京マチ子がいる大映に行きましたが、映画の仕事は向いていませんでした。1年半ほど大部屋にいたけれど、でもその間、『ミス井之頭を写す会』のようなアルバイトをやらせていただき、いろいろなところに行くことができ、映画の仕事より楽しかった。

その後、映画会社の紹介で、伊勢丹のネクタイ売場で働くことになりました。事情があり、それから今日まで一人で生きてきました。そんな波乱の人生の出発点になった『ミス井之頭コンテスト』は、私にとって、忘れられない出来事なのです。

（文・写真 川井信良）



（注1）本は「懐かしい吉祥寺 昭和29・40年（ぶんしん出版。昭和29年8月に開催された武蔵野観光協会主催第一回井之頭カーニバルのイベント、第二回ミス井之頭コンテストに出場した加藤さんがミス井之頭となった写真と記事が掲載されている。

（注2）大塚治も通った老舗の鮎店で、三鷹駅南口近くにあった。初代の店主が井の頭池と井橋たもとで天秤棒を担いでいる古い写真がお店の入口に飾ってあった。



オープンカーでパレード。中央が加藤さん。



▲ 侵入生物を毎日調査している田中さん

よみがえれ！ 井の頭池 6

ひょうたん池の在来種を みんなで守ろう！

2号でお伝えした外来生物の引越。モッコ約1200匹、トウヨシノボリ約200匹などが、西園旧プールからひょうたん池に移されました。世話を続ける「井の頭かんさつ会」の田中利秋さんに聞きました。

引越先は、ひょうたん橋東側の「保護池」。外来生物が侵入しないように柵や透水シートで囲われていますが、放流されたと思われる30cm近い大きさのブラックバスが4月末に発見されたのを皮切りに、バス、ブルーギル、ミシシッピアカミミガメ、ザリガニなどの侵入が続く、保護している在来生物が大幅に減っています。そこで、網で作った「いけす」を設置して保護を強化するとともに、保護池の補強を西部公園緑地事務所に要望しているそうです。

来年に予定されている井の頭池の「かい掘り」の後に在来生物を池に戻せるよう、保護池をみんなで守りたいですね！

『いのきちさん』について

都立井の頭恩賜公園が2017年5月に開園100周年を迎えます。『いのきちさん』は、もうすぐ100歳を迎える井の頭公園に、感謝の気持ちを込めて、地域の市民と企業と団体の協力により発行された100周年カウントダウン新聞です。名称は井の頭公園の「いの」、隣接する吉祥寺の「きち」、井の頭池が市内となる三鷹市の三「さん」を並べたものです。

（奇数月1日の隔月発行です）



スマートフォン対応

「いのきちさん」のホームページができました！更新中！
<http://www.inokichisan.com/>

「いのきちさん」を置いていただける所を募集しています。



『いのけん』（井の頭公園検定）講座 6

「いのけん」申込用紙配布中。
みたか観光案内所（三鷹駅南口・電話 0422-40-5525）か
武蔵野市観光推進機構（武蔵野商工会館 1F・電話 0422-23-5900）まで。

- 問題1 ムクノキは、生き物たちに葉を食べられないようにするため、どんな対策を準備しているのでしょうか？
- 1) いやなニオイを出している
 - 2) 葉の表面をガラス質の物質で覆っている
 - 3) 有毒成分を持っている
- 問題2 井の頭自然文化園の中に動物慰霊碑がありますが、碑に書かれた文字はだれによるもののでしょうか？
- 1) 北村西望
 - 2) 高村光太郎
 - 3) 荻原碌山

答えは裏の面にあります。

